



藤岡みどりの



フクワ

レポート



第9号

2012.06.25 発行

発行：藤岡みどりを推薦する会 代表 大西多美子・松前町議会議員 藤岡 緑
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1

☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131 ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>



わたしたちの町、みんなで守ろう!



こんにちは 皆さん、お元気ですか…

東日本大震災から早1年が過ぎ、被災地では少しずつ復興する中いろんな問題に直面しているようです。インフラ整備はかなり出来つつあっても、新生活スタートになかなか踏み切れない事情をたくさん抱えておられます。

莫大な量の瓦礫処理、そして見えない恐怖である放射能汚染、それに付随する風評被害と、大変困難な問題を乗り越えていかなければなりません。

わたしもこの4月中旬に2回目の仙台近郊周辺地区の訪問を経て、1回目(去年9月訪問)の時以上に重いものを感じました。

同じ国内で自然の猛威とはいえ、今も苦しんでおられる住民の皆さんのことを思うとき、自分の身に置き換えこのような災害が地震大国日本に住む限り、避けては通れない問題と認識しました。

少しでも被害を小さくできる手立て、減災について真剣に取り組み皆さんも一緒に考えていきましょう。

仙台市荒浜海



慰霊碑に献花

宮城県山元町



瓦礫の山となった小学校

H24 当初予算決定でいよいよ新年度活動スター



3月定例議会で以下のような予算編成で可決。

(防災と環境に重点配分した予算)

総 額 167億3千万円

一般会計 89億3千万円

特別会計 68億8千万円

水道事業会計 9億2千万円

★前年度の総額より 7億2千万円少ない

～みどりの一般質問より～

ここが
聞きたい！



12月

Q. 小・中学校の防災機能強化について

A. 子どもたちの安全確保のため耐震補強に併せて、水回り電気系統の改修工事も実施しています。

国からの避難所として機能強化を図るための対象事業費の引き下げや補助率の引き上げなど詳細の決定次第活用していきます。

バリアフリー対策事業にも補助率アップで応用できれば使いたいと考えます。

(>-<) 国の対応の迅速化が重要な鍵だ

3月

Q. 働く女性と子育て支援は

A. 年度当初の保育所は、応募園児全員の受入れが可能。但し、年度途中のゼロ歳児保育の要望が増加した時、臨時保育士の確保が難しく、待機をお願いをすることもありました。

H24年度からは、認定こども園の開園などでゼロ歳児定員枠9名、看護師配置などで充実した保育内容となり期待しています。

(>-<) 臨時保育士の確保がこれからも課題になりそう



6月

Q. 最近のごみ出し（集積所への）の問題点は

- ①高齢者のごみ出しのサポートは ②分別違反ごみの未回収とされたものの取り扱い
③資源ごみ持ち去り禁止条例施行後について

A. ①、②については、各地域の環境委員さんなどへのアンケートで対策情報・アイデアを収集して、発信広報して解決に役立ててもらいます。 ③では、紙類は条例施行前の前年度同期比 約2倍、缶類約1.2倍の収集量となり、効果を上げているようで更に地域の集団回収と上手に調整できるよう広報します。

(*o*) アンケートの結果が楽しみだ

～こんなこと、やってきました！ これからも～

環境

集団資源ゴミ
回収活動

●住民の暮らしに関わるゴミ出しや集積所での問題、日々の生活に直結する環境について環境家計簿、エコ事業、広くは原発事故から特に注目される再生可能エネルギーとコスト意識の見直しなど注目点の多い問題にかかわり、これからも住民目線で活動を続けていきたいと思います。



子育て支援



少子高齢化が進み、ますます重要視される子育て支援だが、町内には公的な保育所7つ、幼稚園2つと充実はしていますが一部老朽化など問題も指摘され、新しく認定こども園の開設やファミリーサポートセンターの支援などで働く女性たちの出産、育児の環境整備に力を入れています。

●女性の視点でさらに0歳児子育て支援体制の強化や臨時保育士さんたちの環境改善など保護者の方々とも連携を取りつつ、より良い体制づくりに汗を流したいと思います。

防災

昨年の3.11 東日本大震災から大幅に見直しになった地域防災計画から、町内でも自主防災組織と消防団、行政が一体となって訓練や学習活動を積極的に行うようになってきました。

●住民の関心も大きく、女性や子どもたちにも関わってもらえるような仕掛けを作り、より幅広い視点で地域の安全、安心を確保していく活動をしていきます。



水防訓練(5/13)





人工芝の
ホッケー場



・文教常任委員会研修(5/24～25)

【行先】島根県奥出雲町

国体ホッケー会場設置後の状況と活用内容の先進事例として研修に。

ご存じのとおり松前町は、平成29年国体でホッケー会場となっているためグラウンド準備や周辺道路の整備、選手の育成、その後の運用方法など、これからます

ます日程が混んでくる中で準備を段取りよく進めていかなければなりません。

★そのため奥出雲町のホッケーを町おこしの一環としてこれまで30年間やってこられた実績と今ではオリンピックホッケー選手を輩出するまでの軌跡を学ばせてもらい今後行政に対して私たちもこの研修成果を反映させ、サポートしていきたいと考えています。

・第37回町村議会議長・副議長研修 全国大会(5/29～30)

愛媛県から18名の団体に東京メルパルクホールに入り、2日間の研修に臨む。

1日目:議会活性化の取り組み事例報告が埼玉県嵐山町から発表(約1時間)



シンポジウム「今後の町村議会の在り方と自治制度」

★事前に行なった議員に対するアンケート結果報告、分析を基に、現状とその問題点を発表し、議会活性化の必要性和住民の意識について議論された。(2時間半)

2日目:ダニエル・カール氏の山形弁で語る日米文化比較論とご自分の震災復興の応援活動など、時折涙を浮かべて熱く訴えられた。

★藤田紘一郎氏より「議員の健康管理術」という視点で免疫力を高める生活のすすめについて、先生自身の奇想天外な健康術を基に始終笑いの中で楽しく聞かせて頂いた。有意義な研修だったが、女性議員の少なさが顕著で、まさに議会活性化の大きなテーマかもしれない。

主な活動記録

12月	- 西高柳防災会 ☆ 12月定例議会 一般質問 - 自主防夜間パトロール
1月	☆ 消防出初式 - 高知ソーレ祭り - コムズフェスティバル
2月	☆ 広報委員会研修 ☆ 和楽園組合議会 - フリマ祭典打合せ会
3月	☆ 3月定例議会 一般質問 3.11 復興支援フリマ - 認定こども園開園式典 - 小中学校卒業式
4月	- 白鶴保育園入園式 - 小中学校入学式 - 議運視察研修(仙台) - 西高柳運動会 ☆ 義農祭
5月	- 史談会研修(滋賀・淡路島) - さんかくの会総会 - 水防訓練 - ネットワーク松前総会 - ウォークラリー(スポレク) ☆ 文教委員会研修(島根県) ☆ 市町村議会研修(東京)

(☆町議会関係行事)

『女性力』に期待す

男と女の違いは何か。神がつくりたもうた五体の他には基本的には違いがあるはずがない。なのに、現実には差別があると感じている女性がほとんどではないでしょうか。

現憲法の下で教育を受けた人のほうが多くなっているのに、なぜ昔風の男尊女卑の差別があるのでしょうか。女性のみなさんが意識転換すれば、この問題はすぐ解決するのです。車の運転をしていて痛感しますが、まあ女性の運転のすごいこと。それは、譲らない自己中の運転のことを言っているのです。あの押しの強さ・自己主張のすごさを政治方面に向ければ、世の中の不合理は必ず改善されます。女性のみなさん、目覚めましょう!!

女子サッカー「なでしこジャパン」をごらん下さい。“なでしこ”は今や世界のトップです。昔の“やまとなでしこ”じゃありません。その気になれば、すぐ変わるのです。目覚めたその『女性力』を政治方面へ向けるのです。その場合は地方の政治・市町村議会からです。そのためには女性議員の数を増やすことです。

女性の真面目さ・正直さ・几帳面さ・しぶとさをもって、現状の日々を変え救うことのできる唯一の力だと大いに期待しています。

(S.O)男性



～会長より一言～

皆様、藤岡みどりの活動を見てくださっているでしょうか。

自分たちの代表で町議会に出てもらっているのですから、監視し注文を付けるのが地域住民の役割だと思います。

活動が良かったら「良いよ。」の声も届けてください。声が届かないと活動が空回りします。

女性も参画した議会が新しい世の中を創ると確信しています。よろしくお願いいたします。

大西多美子



皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。お手紙・メール、直接お電話でも結構です。

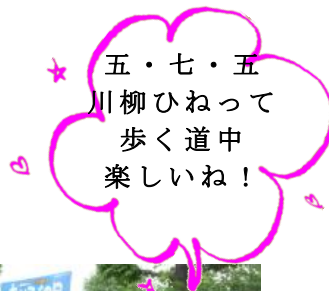
メールアドレス

fujioka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。



史談会歴史探訪
5/9
(水口城にて)



松前町ウォークラリー
5/20
(福德泉一ひょこたん池コ)



西高柳運動会
4/22
(自主防競技)



編集後記

6月も下旬となり、梅雨も半ばといったところでしょうか？ 昨年から自然災害に悩まされている日本列島です。私たちの住む地域は幸いにもまだ大災害に見舞われていませんが、何時なんどき起こり得るかはわかりません。今回も「防災」をテーマにした記事を取り上げています。皆さんの中で一人でも多くの方が真剣に考え、またみんなで取り組む必要性を認識していただければなと感じます。

(K. I)